

「好きな物ランキング大作戦！（表とグラフ）」

1 提案の主張点

- ・ 課題解決能力の育成ということで、子どもの生活の中の題材をもとにして、授業を進めている。ノート以外にも、自己評価カードを活用し、毎時間の意欲や関心を把握したり、課題づくりにいかしたりしている。共感性の育成については、友達の意見を聞いて話し合ったり、子ども同士で学び合ったりする場を設けている。
- ・ 第1時「好きなアニメ調べのアンケートを整理し、表に表す」授業では、落ちや重なりがなく数えるために、「正」の字を使って表にまとめるということを行った。「正」の字が児童から出てくるように、社会科の調べ学習や学級委員の選出のときの写真を掲示した。学び合いや共感性を高めるために、色カードを使い、違う考えの友達と交流させた。
- ・ 第4時「1目盛りが1でない棒グラフをかく」では、最高値やグラフ用紙の目盛りの数に着目して、1目盛りの大きさを考えて見やすい棒グラフをかこうという授業を行った。他の棒グラフでも練習させたかったが、時間がなかった。
- ・ 第7時では、総合的な学習と関連させて、生活の中の数量をグラフ化する授業を行った。今までの学習をもとにしてデータの整理の仕方を考え、グラフを作成していくことを数学的な考え方ととらえた。

2 提案に対する意見

質 教科書にない1目盛り5を扱ったのはなぜか。

答 55円という数値があったので、1目盛り5を扱った。1目盛り5と10の2種類を出したかった。1目盛り100のグラフでは、350mの50mを真ん中に表すということを見付けさせたかった。

質 第4時の授業で身に付けさせたかったのは、「正」を書くことのよさではないか。カードで提示すると、番号を打ったり、レや でチェックしたりして数えた方がはやいのではないか。ランダムに口頭でいう

と、「正」で数えるよさが出てくるのではないか。

答 口頭でいうと、「と」「正」の数え方しか出てこないと思い、本時はカードを見せた。

質 少人数指導をどのように取り組んでいるのか。

答 本単元では、グラフをかくという技能的な面と気になる児童の指導ということでTT指導を行った。「数と計算」では、少人数指導で行った。3学期には学級解体をし、課題別少人数指導を行うことを考えている。教師同士の情報交換については、単元の初めに計画を立て、発問や板書、アイテム、資料作成について共通理解を図っている。

質 T2の発言が少なかったが、T2の役割は？

答 本単元では、T2は支援を要する児童の指導につくということだったので発言が少なかった。

3 御指導

- ・ 生徒指導面の課題から算数の授業に取り組んでいる。その成果が心の伸びに表れている。
- ・ 少人数指導ということでは、低学年はTTや均等割で行い、高学年は習熟度別指導や課題別指導を行っている。
- ・ 第1時には、子どもたちの好きなアニメ調べということで考える必要感を持たせていた。第4時は、1目盛り1円の長い棒グラフを見せて課題をつかませた。第7時では、総合学習と算数の有効性を大切に、今までの学習を振り返りながら学習に入っていた。問題解決能力の育成ということで学習課題が子どもものものになるように工夫していた。
- ・ 同じ考えの人ということで、自分の考えを表出させたり、道徳の授業で活用した色カードを使ったりして、表現力を高めていた。
- ・ 今までの学習の様子を掲示したり、教育機器を使用したりするなど、よい環境で行われていた。
- ・ 学ぶ姿勢度を分析して、子どもの成長をとらえようとしていた。
- ・ フロアプランを用い、指導案の中に、個々の子どもに対する支援が書かれている。